

しちかしゆく 議会だより

第257号

令和8年2月1日(2026年)

- 議会と語る会を開催しました P 3 ~
- 令和7年 第4回定例会 P 4 ~
- 所管事務調査 報告 P 7
- 一般質問 議員が町民の思いを届ける
 - ◇五十嵐敏夫 議員 P 9
 - ◇高橋 浩之 議員 P 10
 - ◇吉田 修 議員 P 11
- クローズアップ 「傾城森の思い出」 手塚 政代 さん P 12

今月の表紙は12月に行われた「子ども議会」です。
定例会さながらの一般質問はすばらしいものでした。 詳細は6ページに掲載してます。

「議会と語る会」を滑津・関地区で行いました

11月5日 滑津公民館 11月6日 関活性化センター

各会場での質疑(抜粋)内容

- ◆熊対策について
自宅近くで熊が箱罠で駆除されたがその後、撤去された。熊の駆除頭数に制限はあるのか。
熊の駆除制限については不明ですが人命に係ることなので詳細を確認する。
- ◆消火栓の使用について
消防団の防火査察時には地区住民と消火訓練を行っているが、水道管破裂の危険性から、消火栓を使用した実地訓練ができない状況にある。
有事の際は使用可能だが水道管破裂の可能性があるため、現在は訓練の際は使用不可と聞いている。今後の対応は確認の必要がある。
- ◆診療所の利用について
通院タクシーの利用者だけでなく、診療所利用者も増やす政策が必要ではないか。
診療所は町にとって必要不可欠である。院外薬局に町から支援金を出しているの、今後も町民が利用しやすい政策を提案していく。

アンケートまとめ

◆議会と語る会開催について

議会活動に期待するものは「政策の実現」に高い関心が示され、「出席人数を増やす工夫が必要ではないか」「議会だより一般質問の自己チェックシートは良い」などの意見があり、「議会と語る会」は非常に良いとの評価でした。

◆町の診療体制について

「以前のように訪問看護、往診の再開や休日診療所の対応をしてほしい」などの要望がありました。

◆義務教育学校の建設について

期待や課題の声があり「子どもを増やす工夫をしてほしい」などの要望がありました。

◆農林業政策について

「農地保全と遊休農地の活用」などの意見がありました。

◆その他

「交通や移住」などへの関心が多くありました。



▲議会と語る会 関会場



▲議会と語る会 滑津会場

令和7年度第2回「議会と語る会」委員長報告 実行委員長 吉田 修

2日間の日程で滑津・関地区を会場に開催された「議会と語る会」において、ご多忙の中ご参加いただき有難うございました。各地域の皆さんからお寄せ頂いた議会や町への意見・要望・アンケートなどを参考に、今後の議会活動に反映させていきたいと考えています。

今後の「議会と語る会」開催時には、より多くの町民の皆様のご参加を期待しています。

七ヶ宿町議会より 新春のお喜びを申し上げます



市長 菅原 研治
議長 菅原 研治

町民から議会に負託されている行政執行の監視と共に、町内産業の生産性向上と町民の生活基盤の安定につながる政策提言にも取り組みます。



副議長 野 三喜男
の 野 三喜男

町民の幸福の為に議会運営、町政発展に努めてまいります。



議員 橋本 美茂
議長 橋本 美茂

安全で安心して暮らせるまちづくり、そして義務教育学校の早期実現に向けて尽力します。



議員 田 吉
議長 田 吉

「次世代を担う若者を大切に」皆んなで支えあう笑顔があふれる町を目指します。



議員 五十嵐 敏夫
議長 五十嵐 敏夫

物価高騰による町民の皆様への生活支援や行政への政策提言、身近な問題の解決のため頑張ります。



議員 渡部 幸
議長 渡部 幸

少数意見や言葉も町民の声と受け止め町に積極的に政策提言していきます。



議員 橋本 浩之
議長 橋本 浩之

町民の皆様と共に今年も一生懸命頑張りますので、明るい町づくりの為によろしくお願いいたします。



議員 橋本 浩之
議長 橋本 浩之

地域の声に寄り添い、暮らしを支える議会運営に努めます。

令和7年第4回定例会

会期（12月3日～5日）

◆人事

議案第57号 固定資産評価委員会委員の選任

◆条例

議案第58号 町長等の諸給与条例の一部改正

議案第59号 職員等の旅費に関する条例の一部改正

議案第60号 七ヶ宿町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

議案第61号 七ヶ宿町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

議案第62号 七ヶ宿町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

議案第63号 七ヶ宿町後期高齢者医療に関する条例の一部改正

議案第64号 七ヶ宿町住みまい住宅応援条例の一部改正

議案第65号 七ヶ宿町地域担い手づくり支援住宅条例の一部改正

議案第66号 七ヶ宿町簡易水道給水条例の一部改正

議案第67号 七ヶ宿町下水道条例の一部改正

議案第68号 宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更

◆その他

議案第69号 七ヶ宿町過疎地域持続的発展計画を定めること

◆補正予算

議案第70号 七ヶ宿町一般会計補正予算（第4号）

議案第71号 七ヶ宿町介護保険特別会計補正予算（第2号）

議案第72号 七ヶ宿町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第73号 七ヶ宿町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

議案第74号 七ヶ宿町介護サービス特別会計補正予算（第1号）

議案第75号 七ヶ宿町簡易水道事業会計補正予算（第2号）

議案第76号 七ヶ宿町下水道事業会計補正予算（第2号）

◆議 発

議案第5号 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

◆追加補正予算

議案第77号 七ヶ宿町一般会計補正予算（第5号）

議案第78号 七ヶ宿町簡易水道事業会計補正予算（第3号）

議案について各議員より各々質疑が行われました。

下段に質疑を抜粋し掲載しました。

尚すべての議案は原案可決されました。

◆人事

◆議案第57号 固定資産評価資産委員会委員の選任

吉田 芳会 氏

― 同意可決 ―

◆条例【質疑】

◆議案第66号 七ヶ宿町簡易水道給水条例の一部改正

五十嵐 敏夫 議員

水道料金及び下水道使用料が値上げされるが、料金値上げに踏み込んだ背景は。

答 町長

水道会計と下水道会計が共に企業会計に移行した。その中で経常経費に多額の赤字が発生している。会計が独立性を持ち運営していくため、料金の値上げが必要となった。

【簡易水道料金・下水道使用料金の値上げ】

◆簡易水道料金 10%

◆下水道使用料 15%

（本来は上水道15%、下水道は25%位の値上げが適当であるが利用者の負担を考えこの料金に制定した）

後の計画は。

答 町長

子どもの人数が増えており、若い移住者の受け入れには成果が出ている。今後も移住者を迎え入れるために必要な事業と考えている。



▲担い手住宅

◆補正予算【質疑】

◆議案第70号 一般会計補正予算（第4号）1800万円追加

五十嵐 敏夫 議員

高齢者等買い物弱者支援事業300万円の内容は。

答 ふるさと振興課長

高齢者などの生活支援のための移動販売事業へ事業継続補助金として計上した。

問 五十嵐 敏夫 議員

移動販売事業を指定管理の中に含める考えはないのか。

答 町長

なないろひろば全体の指定管理期間が残っているためその間は補助金として支援

問 渡部 英幸 議員

上水道管の老朽化も進んでいるが、管の入れ替えなど町として長期的な見通しはあるのか。

答 町長

部分的な補修は行いが、現在敷設している管の全面改修については、町としての計画はない。



▲漏水状況イメージ

◆議案第69号 七ヶ宿町過疎地域持続的発展計画【令和8年度～令和12年度】

問 渡部 英幸 議員

現在の公債費負担比率は10・9%である。令和元年頃は9%程であった。今後義務教育学校建設に当たり、公債費負担比率の上昇もあるのでは。

答 町長

公債比率は確実に上がる。償還期間も含めて財政運営をしなければならぬ。学校建設により、他の住民サービスが低下しないよう管理していく。

問 渡部 英幸 議員

担い手住宅は予定棟数に達しているが今

する。

問 五十嵐 敏夫 議員

物価高騰対応生活支援商品券配布事業613万円の内容と配布時期は。

答 町民税務課長

町民一人当たり5000円の商品券の配布。年内に皆さんの手元に届くように実施したい。



▲あったか・ぬくぬく生活支援商品券

問 五十嵐 敏夫 議員

子育て応援手当284万円の内容と実施方法は。

答 町長

18歳以下の子ども一人当たり、2万円で12月中に支給する。

◆追加補正予算

問 吉田 修 議員

ツキノワグマ被害防止緊急対策支援事業150万円の具体的な内容は。

答 町長

民家の住宅地内にある柿や栗の木等の伐採事業と駆除隊の捕獲活動事業に係る経費。

◆債務負担行為

○七ヶ宿町移住定住支援センター管理業務
(令和8年度から令和12年度) 7500万円

○一般廃棄物収集・運搬業務委託事業
(令和8年度から令和10年度) 2620万円

問 渡部 英幸 議員

移住定住センター管理業務の債務負担行為が前回より500万円増えている理由は、

答 ふるさと振興課長

令和6年度実績と令和7年度見込み平均を基礎に、最低賃金引上率と物価高騰を見込み5%を加え、令和8年度は1400万円、令和9年度以降は3%加算し5年間の債務負担行為の総額を7500万円とした。

◆議案第74号 七ヶ宿町介護サービス特別

会計補正予算(第1号)

○高齢者生活福祉センター管理業務委託
(令和8年度から12年度) 5000万円

問 渡部 英幸 議員

高齢者生活福祉センター指定管理料増加の理由は、

答 町長

物価上昇や人件費の増加、利用者の減少を考慮し変更した。

所管事務調査報告

「入浴施設の利用状況とチップ生産施設の現状は」

調査実施日 令和7年11月5日(火)

調査事項 入浴・バイオマス施設並びに木材チップ生産施設の現状と課題について
総務文教常任委員会 委員長 五十嵐 敏 夫
産業建設常任委員会 委員長 渡部 英幸

入浴施設「やすまっしえ」・バイオマス施設並びに木材チップ生産施設の現状について総務文教、産業建設両委員会の合同所管事務調査を行った。

入浴施設「やすまっしえ」は令和元年度の開設当初より、令和6年度にて、6割増加の16,226人の利用者増加につながっている。しかし、人件費や光熱水費、燃料費の高騰に伴い、令和6年度では約1,176万円赤字を計上している。また、ボイラーの修繕費はこれまでの2年間に、約250万円となっている。

バイオマス施設においては、令和6年度にて売上額から仕入金額を差し引いた収入は約800万円である。しかし、近年トラクターチップパー機の故障による修繕費が徐々に発生していることから、今後の事業の継続について各委員から以下のような意見や提言が出されました。

【入浴・バイオマス施設】

- ①ボイラー施設の定期点検とマニュアルの整備の再確認が必要である。
- ②コンピューター管理による機械管理装置の導入が必要である。
- ③今後の利益向上のため、光熱水費と燃料費の高騰に対する対応が必要である。

【木材チップ生産施設】

- ①チップの水分量が多いため供給先の減少がみられるので、作業改善が必要である。
- ②チップトラクターの不具合が増加しているため、修繕の為にメーカーとの詳細な打ち合わせが必要である。

以上、より良い施設管理体制の構築を切に望み報告とします。



【訂正とお詫び】

議会だより256号に掲載した写真説明に誤りがありました。内容確認が不十分であったことを深くお詫び申し上げます。正しい内容は次のとおりです。

令和7年11月1日発行 第256号 16p 高橋 浩之議員 一般質問内の写真説明
誤【 町有林間伐材搬出道路 】 → 正【 民有地の作業道 】

議員研修

去る、1月8日より2日間、千葉県美浜区にある「市町村職員中央研修所」にて、議員研修が行われました。盛りだくさんの内容で、今後の議員活動に役立ちます。

1月8日

①「久住昌之のニッポンふらっとグルメ」

②「被爆体験記朗読会及び被爆体験講話」

1月9日

③「主権者教育」政治離れを防ぐための「第一歩」

④「自治体財政の基本と予算審議のポイント」



今月号の表紙は第1回「こども議会」です。

12月15日に小学5・6年生と中学生1・2年生が議場で子ども議会を行いました。行政に対しての一般質問では生活や教育、将来の町づくりなど、率直で柔軟な視点からの質問がありました。児童・生徒ならではの発想から、活発な意見が出されました。



令和7年第3回定例会以降の議会・議長の動向

月 日	場 所	会議・行事等名	出席者	摘 要
9 月 11 日	活性化センター	敬老の集い	議員全員	
9 月 17 日	事務室	議会広報特別委員会	広報委員	
9 月 24 日	事務室	議会広報特別委員会	広報委員	
9 月 28 日	町内	定期消防演習	正副議長、議員 5 名	
9 月 30 日	大河原町	仙南亘理議長会	議長	
9 月 30 日	事務室	議会広報特別委員会	広報委員	
10 月 5 日	利府町	全国育樹祭	議長	
10 月 7 日	事務室	議会広報特別委員会	広報委員	
10 月 8 日	第 3 会議室	全員協議会・神奈川県清川村視察対応	正副議長、議員 5 名	議会運営について
10 月 11 日	町内	西山学院文化祭	議員全員	
10 月 15 日	事務室	議会広報特別委員会	広報委員	
10 月 17 日	大河原町	仙南地域広域行政事務組合全協	議長・渡部	
10 月 19 日	活性化センター	ふるさと祭り・町表彰式	議員全員	
10 月 23 日	事務室	議会広報特別委員会	広報委員	
10 月 27 日	大河原町	仙南地域広域行政事務組合議会	議長・渡部	
10 月 27 日	開発センター	スキークラブ総会	議長	
10 月 28 日	県庁	議員合同セミナー	正副議長・委員長 2 名	県議・市町村議員
10 月 28 日	大河原町	行財政研修会	吉田・高橋き・高橋浩	
10 月 30 日	第 3 会議室	北海道月形町議会視察対応	議長	地域おこし協力隊・まちづくり(株)について
11 月 1 日	村田町	村田町合併 130 周年記念式典	議長	
11 月 5 日	町内、第 3 会議室	総文・産建所管事務調査	委員全員	
11 月 5 日	第 3 会議室	議会改革特別委員会 (デジタル・ICT 小委員会)	委員全員	
11 月 5 日	滑津地区	議会と語る会	議員全員	
11 月 6 日	活性化センター (関)	議会と語る会	議員全員	
11/12～13	東京都	町村議会議長全国大会	議長	
11 月 12 日	川崎町	川崎町合併 70 周年記念式典	副議長	
11 月 14 日	仙台市	議会広報研修会	広報委員 3 名	
11 月 15 日	七ヶ宿小学校	学習発表会	議員全員	
11 月 17 日	東京都	全国過疎地域連盟第 60 回総会	議長	
11 月 19 日	仙台市	宮城県町村議会議長会議	議長	
11/20～21	愛知県春日井市・蒲郡市	仙南広域議会先進地視察	議長・渡部	
11 月 26 日	第 3 会議室	議会運営委員会	議運委員	第 4 回定例会
11 月 26 日	第 3 会議室	全員協議会	議員全員	
11 月 26 日	第 3 会議室	教育環境整備特別委員会	議員全員	

令和7年文化の日表彰・自治功労表彰を受賞されました

令和7年10月30日に地方自治の振興に寄与した功績により、宮城県知事より今野副議長へ表彰状が授与されました。今後の活躍に期待します。



問 豪雪から住民を守る方策は万全か

答 除排雪組織への支援と道路の安全確保に努める

問 高齢者や身障者世帯の除排雪作業は生活上大変困難な状況から、住民の安心と安全を守る各地区の除排雪作業団体組織の現状と支援体制の強化対策は。

答 スノーボランティア組織は各地区で高齢者や障害者を対象として活動している。作業員の高齢化等により即時対応が難しい課題を踏まえながら、状況を確認し、除排雪作業を行っている。町として、高齢者等除排雪



い が ら し と し お
五十嵐 敏夫 議員

対策協議会による燃料費やボランティア保険料等の一部助成を継続し、協議会と連携しながら除排雪対策を実施していく。

問 各地区のスノーボランティア団体の隊員総数や年齢の把握は。

答 今月行う高齢者等除排雪対策協議会の中で確認をする。除排雪については、町内外のボランティアを集める工夫やシルバー人材センターなどで除排雪体制がとれるか協議する。

問 スノーボランティア隊員の除排雪作業は玄関から生活道路まで、屋根の雪下ろしは行っていないが、業者等への依頼に対しての助成制度は。

答 雪下ろし助成制度は他の自治体の状況を見て検討中である。

問 役場職員で緊急時に対応できる除排雪作業組織の編成ができないか。

答 緊急時での対応は職務命令としてあり得るが、それ以外の場合では困難である。

問 除雪機械の維持管理並びに、町道除雪作業オペレーターへの待遇改善と雇用確保体制は万全か。

答 除雪機械は、2年毎の車検と毎年特定自主検査を行っている。業務は「まちづくり(株)」に委託しており、待遇改善及び雇用体制については、委託先との十分な協議を行っている。その他の委託先2法人とも、日額報酬、社会保険料等を協議し、業務契約を締結しており、今後についても賃金改定等を含む協議を重ねて雇用の安定に努めていく。



▲町道除雪作業中

問 除雪に対する苦情処理について町としてしっかりとらえるべきではないか。

答 苦情については、町の管理下で行っているため、町が受ける形になる。

【自己チェックシート】
豪雪対策は、町民の安心・安全を確保するため極めて重要な問題である。今後行政として、通学・通勤・救急医療・防災等の住民生活に更なる尽力を望むものである。



たかはし ひろゆき
高橋 浩之 議員

問 行政と教育委員会のハラスメント防止等に関する要綱が制定されているがハラスメントの多様化が進む中、職場環境の改善にどう生かされているのか。また職員が相談しやすい職場環境づくりや外部機関を活用した相談機能の充実をどの様に進めて行くのか。

答 町では毎年全職員を対象とした研修や係長以上の職員に外部研修に参加させ、ハラスメント対策をしている。また毎月の産業医面談

や相談員の配置、外部の市町村職員共済組合への相談体制を整備している。

問 町はハラスメント相談の傾向をどの様に把握しているのか。

答 現在は特に大きな事案は発生していないと認識している。研修を通じてハラスメントの防止を徹底している。



問 学校の保護者対応や子供をめぐめる感情的なトラブルや小規模職場での固定

問 働きやすい職場環境をつくるには

答 しっかり対策はしているが、状況に応じ、対応していく

的な人間関係など教育現場の特性を踏まえた独自のガイドラインなどはあるのか。更に保護者からの過度なカスタマーハラスメントへの対応指針を策定する考えはあるか。



答 教育長

教育委員会では、校長・教頭会議で非違行為防止としてハラスメントが無い様、継続的に周知している。学校では月1回のコンプライアンスシートによる自己点検も実施している。カスタマーハラスメントについては重大な事例はなく学校、保育所が保護者の意を十分汲み取り適切に対応している。

【自己チェックシート】

職場内のハラスメント対策は、研修や振り返りを通じて一定の取組が進んでいる一方、職場の小規模性や教育・保育現場の特殊性を踏まえると、まだ改善の余地があると感じます。

すべて個人の努力に頼るだけでなく、組織として学びを共有し、風通しの良い職場づくりを進めることが大切だと考えます。これらの課題に向け、相談体制やガイドラインの整備、職場内部が個々に協力し合える状況を構築し、特に潜在化したケースを見逃さない視点も重要ではないかと感じました。

今回は町長、教育長のそれぞれに質問を行う事が出来ました一般質問の幅が広がる可能性を感じることが出来たことは非常に意義があると感じています。

問 今後の狩猟ハンターの担い手確保は

答 狩猟に関心のある方を育成して行きたい

問 これまで主にサル・イノシシの対策をしてきたが、近年はクマの出没が深刻になっている。全国的にも狩猟ハンターの確保が困難となっており、今後の人材確保はどのように進めて行くのか。

答 これまで同様に猟友会の協力の下に有害鳥獣駆除隊員の育成を図り、隊員の増員に向け新たな狩猟免許取得者に対する支援として、

資格取得の補助金を実施して行く。

クマ緊急対策支援事業として、住宅地内の不要な柿の木や栗の木は、町が伐採することにした。

問 現在の追い払い隊や駆除隊員で対応可能なのか。また実動できる隊員数、人材確保について。

答 実働可能な駆除隊員は6名。うち4名は追い払いパトロール隊。当分の間は維持できると考えているが、今後狩猟に関心のある若い方を補充しながら育成して行きたい。

問 サル・イノシシの増加が西部地区、増加傾向と聞く。特に千蒲地区では人口減少と戸数減少により、集落管理が限界にきている。ク

マの出没も加わり、ヨモギの収穫など困難になるのではないか。

答 ヨモギ栽培には電気柵が有効である。町民であれば電気柵の設置に4/5町補助を実施しているためぜひ利用して頂き、安心できる体制を考えて行きたい。



問 町として、町民向けの勉強会や小学校での安全教育取り組み・見守りなどの考えは。

答 クマが出没しない環境整備が基本である。生ごみの放置や戸締り・住宅まわりの果樹の管理の徹底。学校・保育所付近に出没した場

合は保護者による送迎や町営バスの有効活用など安全対策を講じたい。又、地域からの相談があれば対応したい。

問 罠にかかった獣の処理は危険を伴う命がけの作業であり、高い技術を持ったハンターや担い手の育成が必要でないか。

答 経験を積んだハンターが3、4名いる。クマの駆除については、経験をしないといざという時の対応が困難なため、技術を伝承して後継者を育成してもらいたい。

【自己チェックシート】

エサ不足による、冬眠しないクマ出没で人間まで襲われる報道が連日取り上げられている。今後も継続と考えられることから、将来に向けたプロの担い手ハンター育成が重要と質問をした。具体的によようにして確保して行くのか、もう少し質疑すべきだった。

クローズアップ

傾城森の思い出

ダム湖上流地に昔から信仰のある山として知られている「傾城森」という小高い岩山があります。この傾城森について手塚政代さんより詳しいお話を伺いました。

問 傾城森のふたつの山の山頂に祠と鳥居がありました。が由来などありますか。

答 「火伏の神様」と「賽の河原」がそれぞれ祀られております。昔から「火伏の神様」を「こぶはら」と言っていて毎年「栃木県鹿沼市」にある古峯神社本山に行きお札を持ち帰り、配布する行事がありました。現在は途絶えてしまいました。



▲傾城森

問 山頂の鳥居はどなたが建てたのですか。

答 夫が若いころに老朽化した鳥居を建て直したものです。合計5か所傾城森に奉納しました。私も借りだされ山頂まで砂利を背負い何回も運んだものでした。



関地区 手塚政代さん

現在は吊り橋や登山道も整備され誰でも気軽に登れるようになりました。ツツジや山桜が咲き乱れる頃は町外からの登山客も見られます。登山道入口の案内看板には京の都から駆け落ちした山伏と舞子の悲運な伝説なども書かれています。

議会を傍聴してみませんか？

次の議会は令和8年3月3日から16日の日程で、第1回定例会を開催予定です。傍聴に関してのご質問は「七ヶ宿町議会事務局」までお気軽にお問合せ下さい。

編集後記

昨年は、全国各地で大規模な森林火災や洪水による自然災害が発生しました。さらには、物価高騰や米不足など、国民生活に大きく影響があり、また熊の出没も加わり町内のさまざまな行事などが中止になりました。

議会として、町民の皆さんに安心した生活が出来るよう町政に働きかけていきます。

(吉田)



議会広報特別委員会

委員長	吉田 修
副委員長	高橋 浩之
委員	五十嵐 敏夫
委員	高橋 きく子

議会だより作成のため、お気軽にご意見・ご要望をお聞かせください。



現在町のホームページからも議会の内容や議会だよりをご覧いただけます。

▷連絡先 七ヶ宿町議会事務局 ☎ 37-2197 FAX 37-2198

12月定例会の
傍聴者は2名
でした